

独立行政法人国立青少年教育振興機構の取組

青少年教育に関する調査研究

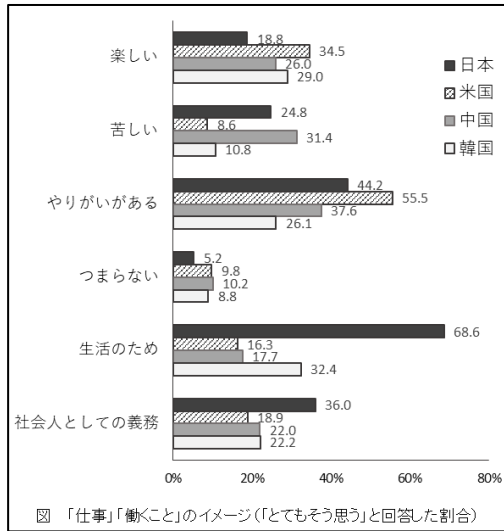
国立青少年教育振興機構では、青少年教育に関する調査研究を実施し、その成果を広く提供・活用することにより青少年の健全育成に寄与することを目的としています。

▶「高校生の進路と職業意識に関する調査」

毎年、日本・米国・中国・韓国の高校生を対象とした意識調査を実施しています。

令和4年には、「高校生の進路と職業意識」をテーマに国際比較調査を行いました。

調査結果から、日本の高校生の主な特徴として、「職業選びにあたって、『仕事』の環境』『安定性』『自分の興味や好みに合っている』ことを重視することや、『仕事』『働くこと』のイメージは『生活のため』『社会人としての義務』が強い」ことなどが分かりました。



▶「青少年の体験活動等に関する意識調査」

平成18年度から青少年の自然体験、生活体験、生活習慣の実態や自立に関する意識等について、全国規模の調査を行っています。

令和元年度に行った調査では、社会経済的背景の相違に関わらず、自然体験が多い子供ほど、自己肯定感が高く、自律性・積極性・協調性といった自立的行動習慣が身につけている傾向があることなどが分かっています。

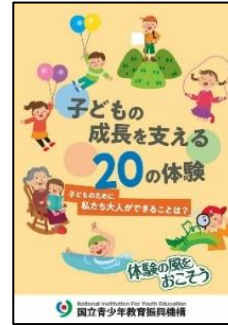
令和4年度に行った最新の調査結果は、当機構HP上で本年3月に公開予定です。

★各調査研究報告書は、当機構HP内「所蔵資料等検索サービス」より閲覧、ダウンロードいただけます。



体験活動普及啓発資料について

資料のご紹介 多くの場面で活用されている資料の一部をご紹介します。



◀子どもの成長を支える20の体験 子どものために私たち大人ができることは？

これまでの研究成果等を踏まえ、自立した大人へと成長する過程において大切になる子供の頃の体験と、将来、社会を生き抜くために必要となる資質・能力の関係を体系的に整理しました。

「読書好きを育てるヒント」 子どもの成長を支えるために大人ができることは？ ▶

「読書」に焦点を当て、子どもたちの成長を支える読書環境の整備について考えるリーフレットを作成しました。当機構の調査結果から分かったヒントの他、又吉直樹さんの経験からのヒントも掲載しています。



★普及啓発資料の閲覧及びダウンロードはこちらから！
⇒<https://www.niye.go.jp/about/relations.html>



全国28か所にある国立青少年教育施設では豊かな自然をはじめとする特色を生かしたプログラムを提供しています。
研修・合宿等でご活用ください。

★詳しくは各施設のHPを参照いただき、ご相談ください。
⇒<https://www.niye.go.jp/facilities/facilities.html>



「子どもゆめ基金」助成事業について

「子どもゆめ基金」は、未来を担う夢を持った子供の健全育成を推進するため、民間団体が行う様々な体験活動や読書活動への支援を行っています。

<助成の対象となる団体>

- 財団法人や社団法人
 - 特定非営利活動法人
 - 法人格を有しないが、青少年のために活動する団体 等
- ※PTAや子ども会が主催する活動も助成の対象となります。

<助成の対象となる活動>

①子供の体験活動

- ・自然観察やキャンプ等の自然体験活動
- ・科学実験教室等の科学体験活動
- ・文化・芸術、スポーツ等を通じた交流体験活動
- ・清掃、高齢者介護体験等の社会奉仕体験活動
- ・子供の体験活動の指導者養成 等



②子供の読書活動

- ・読み聞かせ、読書会活動
- ・子供の読書活動の振興を図るフォーラムの開催 等

③子供向け教材開発・普及活動

- ・子供の体験活動や読書活動を支援・補完するデジタル教材を開発し、普及する活動



※経済的に困難な状況にある子供の体験活動への助成について、通常は助成対象外とされている参加者の交通費・宿泊費・飲食代等を特に助成の対象とすることで、参加者の負担を軽減しています。

<助成の対象とならない活動（例）>

- 国又は地方公共団体等が実施する活動
 - 国又は地方公共団体等との「共催」で実施する活動
 - 他の機関・団体等から委託（指定管理）を受けて行う活動
 - 学校の授業や行事の一環として行う活動
 - 国又は国が出資した資金等に助成金等の申請を行う活動
- （例：芸術文化振興基金、スポーツ振興基金、社会福祉振興助成事業、地域と学校の連携・協働体制構築事業等）

※地方公共団体の補助金・助成金を併用することは可能です。

【令和5年度助成金の申請・採択状況】※（前年度比増減）

活動分野	申請件数	採択件数	交付決定額
体験活動	3,486件(▲592件)	2,901件(▲154件)	12.1億円(▲0.3億円)
読書活動	352件(▲61件)	309件(▲14件)	1.3億円(▲0.2億円)
教材開発	27件(2件)	12件(▲1件)	0.8億円(▲0.03億円)
合計	3,865件(▲651件)	3,222件(▲169件)	14.2億円(▲0.5億円)

【活動規模別の助成金限度額】※活動実績のない新規団体は、原則として限度額の2分の1となります。

活動規模	参加者を募集する範囲	限度額
全国規模	24都道府県以上で募集	600万円
都道府県規模	都道府県全域又は複数都道府県にて募集	200万円
市区町村規模	市区町村単位又は複数市区町村にて募集	100万円

【令和6年度募集スケジュール】

	活動時期	申請・交付決定スケジュール
一次募集	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	○申請：令和5年10月1日～11月21日 ○交付決定：令和6年4月（予定）
二次募集	令和6年10月1日 ～令和7年3月31日	○申請：令和6年5月1日～6月18日 ○交付決定：令和6年8月（予定）

※子どもゆめ基金サイト
<https://yumekikin.niye.go.jp/>